

ひびばい 市議会だより

令和3年8月1日

56号

発行 美唄市議会
編集 市議会広報委員会副議長
(総務・文教委員会)

議長



副委員長



委員長



産業・厚生委員会



副委員長



委員長

総務・文教委員会



任期の折り返しとなり、各委員会構成が変わりました

令和3年第2回定例会は6月8日に開会し、6月21日に閉会しました。本会議では市長から、新型コロナウイルス感染症に対する本市の経済対策や、高齢者へのワクチン接種について、株式会社ホワイトデータセンターの設立について、また大規模水道事故調査検討委員会の開催、令和2年度各会計決算概要について、豪雪による除排雪経費の増加等による収支不足額に充てるため、財政調整基金を取り崩し、実質収支で、3億2,904万円の黒字決算となったことが報告されました。教育長からは、学校職員2名が新型コロナウイルスに感染した事が報告されました。議件の内訳としては、承認案件6件、条例改正案件1件、補正予算案件4件、報告案件3件、人事案件1件の計15件がありました。11日、12日には、9名の議員が市長並びに教育長に一般質問を行いました。

第2回定例会(6月8日～21日)

☆令和3年度一般会計予算 歳入歳出

164億9184万6千円

可決

☆令和2年度一般会計 補正後の予算額

210億8448万1千円

可決

◆◆ 主な内容 ◆◆

- ◆ 一般質問
- ◆ 各委員会報告
- ◆ 定例会審査議案
- ◆ お知らせ
- ◆ 市議会の動き
- ◆ 編集後記

産業・厚生常任委員会では、合同墓整備基本計画について審議しました。予算審査特別委員会では、承認案件として、特別交付税の決定額が現計予算額を下回ったこと等により生ずる一般会計の歳入不足を補填するため、財政調整基金5億7千万円を使用することが報告され、新型コロナウイルス感染症による、生活支援特別給付金や、豪雪による公共施設の損壊などに対する修復費用を審議しました。また、18日には大規模水道事故等調査特別委員会が開催され、事故の原因や現況、今後の対応について調査を行いました。また最終日には、議会から、国に対する意見書5件と陳情1件を提出し閉会しました。

会派構成

※6月28日より

◇会派◇ ◎会長 ○幹事長

令和議員会

◎桜井 龍雄 (3期)
○楠 徹也 (2期)
川上 美樹 (2期)
森崎 明人 (1期)

山崎 広 (2期)

みずほ議員会

◎谷村 知重 (3期)
○松山 教宗 (2期)
小関 勝教 (5期)
金子 彦 (3期)

市民交流クラブ

◎山上 他美夫 (1期)
○齋藤 久美夫 (1期)
伊藤 真久 (1期)

無会派

紫藤 政則 (6期)

無会派

本郷 幸治 (5期)

議会構成

(議決を要する人事)

議長 金子 義彦
副議長 桜井 龍雄
監査委員 楠 徹也

◇常任委員会◇
総務・文教委員会

委員長 山崎 一広
副委員長 谷村 真久

委員長 齋藤 久美夫
副委員長 楠井 徹也

産業・厚生委員会
委員長 松山 教宗
副委員長 川上 美樹

委員長 森崎 明人
副委員長 本郷 幸治

議会運営委員会
委員長 谷村 知重
副委員長 山崎 他美夫

広報委員会
委員長 川上 美樹
副委員長 松山 教宗

委員長 伊藤 真久
副委員長 藤 政則

◇特別委員会◇
地域医療体制等調査特別委員会

委員長 川上 美樹
副委員長 谷村 知重

大規模水道事故等調査特別委員会

委員長 松山 教宗
副委員長 楠 徹也

※特別委員会は全議員参加

◇議会から出向しているもの◇
桂沢水道企業団議会議員

金子 義彦
桜井 龍雄

石狩川流域下水道組合議会議員

谷村 知重

南空知ふるさと市町村圏組合
議会議員

金子 義彦

空知教育センター組合議会議員

川上 美樹

青少年問題協議会委員

森山 教宗

都市計画審議会委員

山上 他美夫
山崎 教宗
松山 政則

議員会役員
(兼森林・林業・林産業活性化
美唄市議会議員連盟)

会長 桜井 龍雄
副会長 松山 教宗
幹事 森崎 明人
幹事 齋藤 久美夫

一般質問

今定例会では9名の議員が一般質問を行いました。質問・答弁は本人が要約したものを掲載しています。

令和議員会

川上 美樹 議員



の感染者、濃厚接触者である。6月3日で高齢者の予約率は77%、一回目の接種率は40%、接種会場は7か所で7月から1か所増える。打ち手については十分に確保でき、重篤な副反応者はいない。64歳以下は10月までに行う。

問 本市は市町村別の公表がされていないので、コロナウイルス感染者の状況がよく分からない。また予防接種の状況はどうなのか。会場は歩いて行ける場所では出来ないのか、打ち手不足は無いのか、副反応の把握はしているのか、64歳以下の今後はどうか。

問 国は会社に出向がなくなっても家などで仕事をする「テレワーク」を進めている。市役所内でも業務内容によってはテレワークが可能な部分もあるのではないかと。職員の働き方改革の面からも推進すべきと思うが。

答 市役所は対面での業務が多いのでテレワークを推進するには、課題が多い。そのため、美唄市情報化推進計画が3月から施行されているが、この計画に伴い、課題を解決しながら取り組んで行く。

問 コロナ禍により女性の雇

市 議 会 だ よ り

(3)

用や家庭内DV、自殺など全国的に悪化。本市はこのことに対し、どのように対応しているのか、困り事に寄り添った支援策を早急に強化すべき。

市民交流クラブ

伊藤 真久 議員



○美唄市DX推進計画について

問 推進を担当する部署は。デジタル人材の確保・育成の取り組みは。DXについて市長の考えは。

答 推進担当は美唄デザイン課が担当する。人材確保については、今後は高度な問題の多様化・複雑化が想定され、必要な研修を行っている。今

後も人口減少など地域の課題解決に向けて、デジタル化の推進に取り組む。また、今年度からスマート農業の推進のために職員を農林水産省に派遣し、今後もデジタル人材の確保育成に重点的に取り組む。

○廃校利用について

問 これまでの協議等の経過・内容は。それを踏まえた活用方法は。地域住民の意向は。文部科学省「みんなの廃校プロジェクト」の活用は。

答 地域に対して利活用の意向調査を行い、今後の利活用について検討している。現在は民間への売却が進められている。「みんなの廃校プロジェクト」について市長部局と連携し検討していく。

○GIGAスクール構想の取り組みについて

問 「ICTプロジェクトチーム」の設置時期と活動内容は。当市のGIGAスクール構想の進捗と課題は。

答 本年3月に設置し、現在14人で構成している。ルールや指導方法の他、研修など行っている。GIGAスクール構想については、段階的に1日

2回から3回以上、タブレットを活用している。しかしながら、すべての家庭において通信環境が整っていないため、オンライン授業に課題がある。

みずほ議員会

松山 教宗 議員



問 令和2年度空知管内24市町の特別交付税の総額は前年度比5.2%増の136億6,800万。今冬の記録的豪雪に伴い除排雪経費が増加した岩見沢市は34.8%増の21億1,700万。三笠市は14.2%増で12億7,500万。本市は0.3%増の10億5,900万に留まった。また、道路除雪費を支援する国交省からの「臨時特例措置」として市町村に追加配分された補助金は岩見沢市3億1,400万円。三笠市5,900万円。過去最高の除排雪費となった

本市への配分は0円だった。他市に比べ本市はなぜこのような結果になったのか。これらの要因は何か。さらに結果として交付税等の減のため歳入不足となり、これまで貯めた財政調整基金を取り崩し補正されている。本市にとって交付税や各種補助金は貴重な財源であり、獲得のための要望活動は市民サービスの提供や行財政運営において重要では。市長の受け止め方と認識は。

答 令和2年度の特別交付税の結果として、本市の配分に反映はされなかった。国交省からの臨時特例措置の補助金は令和2年度の調査より新設された「要望額」について未記入で提出。結果財源の確保ができなかったことを真摯に受け止め、第1回市議会定例会閉会後の3月30日に上京し、国交省に対し事情を説明のうえ、令和3年度の配分に向けた要望を行うとともに、特別交付税についても4月20日に総務省に出向き令和3年度における除排雪経費や大規模水道事故対策経費の措置につい

て緊急要望を行った。

無会派

山崎 一広 議員



問 市長に就任され2年が経過、総括を、また、選挙の争点でも有った『病院建設』、今日まで市民の方々からの意見や反応はどう受け止めているのか。

答 市長の責務として、皆様の信託に応え『美唄市まちづくり条例』に基づき、公平・公正かつ誠実に取り組んできた。市民の皆様と力を合わせた『過去を今に生かし、未来につなぐ』信念と行動力のもと『第7期総合計画』に掲げる都市像の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

病院建設は、基本構想・基本計画を取りまとめ、専門家のご意見やパブコメ、市民説明会を開催、意見交換をさせ

市 議 会 だ よ り

て頂いた。この事から、市民との合意形成が図られたと考え、『より良い医療の提供が出来る環境を整えて行く』ため、病院建設に皆様と共に確実に取組んで参りたい。

問 緊急事態宣言が出されている東京・名古屋・京都・大阪に何故出張されたのか。渦中に飛び込むことは危険行為、職員も随行させられたのか。副市長や職員に意見を聞かれたのか、自身の危機管理意識について伺う。

答 今この時期でなければならぬ懸案事項の解決や、医師確保、水道事故や豪雪に伴う要請要望事項等、今抱えている重要政策と判断し、緊急度や重要度など、十分検討し必要であると私の判断で出張した。

この事については、3密の回避や、ソーシャルディスタンスの確保、抗原検査の実施可能な限り感染防止対策に取り組を徹底してきた。

令和議員会

楠 徹也 議員



○農業行政

問 農業用ハウス等における豪雪被害状況と対応について

答 本市における農業用ハウス等の被害については、167件で、各農協から被害報告を受けており、その内訳はハウス被害が130棟、農業用格納庫が31棟、農業用機械が5台ドームハウスが1棟となっている。今後、強い農業担い手づくり総合支援交付金については、補正予算に提案し持続的生産強化対策事業については事業実施主体である農協などに内示される。

問 行財政運営について

平成28年度に策定した「美唄市公共施設等総合管理計画」は4年が経過したが、どの様になっているのか。

答 美唄市公共施設等総合管

理計画では、公共施設の供給目標として人口減少にともなう需要減や施設ニーズを考慮し、30年間で総延べ床面積を30%削減することとしている。策定後4年が経過したが、この間で合計5322.18平方メートルの保有面積を削減し公共施設等総合管理計画で示している総延べ床面積に対し、約2.3%の削減となっている。

市として、今後も総合管理計画の基本方針に沿って人口減少を見据えた公共施設等のマネジメントに取り組むが、公共サービスの低下を招くことがないよう配慮するとともに、市民の皆様と直接対話による説明や意見交換を行いながら進めていきたい。

その他の質問

○市道（農道）の整備について

○農業水利施設について

○農業水利施設のIoT化について

市民交流クラブ

山上他美夫 議員



問 大雪に伴い今年3月10日に国道12号線沿いで市中心部の店舗と空知理美容美容専門学校（以下理美容学校）の倒壊事故で、市は緊急処置により解体し、3か月後の現在もブルーシートやネットで覆ったまま放置され市中心部の景観を損ない、今後の台風シーズンに向けて市民の不安も出ているが、以下4点について伺う。

- 1, 放置された解体家屋所有者の状況や撤去の意向を把握しているのか。
- 2, 倒壊現場の解体撤去費用は幾らであったのか。
- 3, 緊急の解体作業に要した費用は誰が負担したのか。
- 4, 台風シーズンも近いが倒壊現場の解体撤去の期限について

いて見通しを把握しているのか。

答 国道12号線沿いの3軒の内1軒は早急な解体撤去を行って頂くよう依頼し、もう1軒は解体撤去に向けて業者と調整中です。

残り1軒は相続関係の把握ができたので協議を進めていきます。理美容学校は代表清算人と早期解決に向けて協議を進めています。

解体費用は国道沿いの2軒が284万9千円で、理美容学校は44万円ですが災害対策基本法により市の負担となっています。

倒壊家屋の撤去見通しは私有財産であり所有者の責任ですが、関係部署が連携を図り早急な撤去に向け助言、指導していきます。

空き家対策については、社会問題となっていることから、空き家の利活用・除却を促すため財政措置の充実や、今後とも全国市長会を通じて国の制度充実などを要望していきます。

無会派

本郷 幸治 議員



問 「市立美唄病院の建替え計画について」

現在進めている新病院の建設には、立地適正化計画における保健福祉総合施設が無くなり、以前その計画に係わった市民委員の方々が、美唄市の高齢化が進む将来のことを真剣に考え議論を重ねた結果、市民に取り最要であると判断した結果の併設であったはずです。

そこで、市長が考える「市民との協働のまちづくり」や「市民との合意形成」とは、どこにその信念をおいているのか伺います。

答 市民との合意形成につきましても、美唄市まちづくり基本条例の「市民との協働や情報の共有化を図る」という原則に基づき、進めなければ

ならないものと考えております。

問 災害対策について

災害対策基本法では、「市町村長は、災害が発生し又はまさに発生しようとしているときには、必要な応急措置を速やかに実施しなければならない。」とあり、本市においても、日頃から災害を未然に防止するという観点から災害対策基本法に基づき、迅速に対応するべきと考えますが、市長の考えを伺います。

答 災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を防災の基本として、たとえ被災したとしても人命が失われないことを最重視し、災害に強いまちづくりを実現するため、平時から災害に対する備えとしてより一層取組んでまいります。

市民交流クラブ

齋藤久美夫 議員



問 令和二年度のコロナ禍に伴う、本市独自の経済支援及び生活支援事業の実施とその成果について

答 経済支援では、びばい応援券や応援団づくり事業等の八事業により、市内経済への波及効果があり、事業継続支援として国や道の支援に加え、市の支援等を通じ一定の経済支援効果があつたものと考えている。

一方生活支援では、子育て世帯、特に収入状況の厳しいひとり親世帯などを対象に行い、生活支援に一定の効果があつたと考えている。

問 令和三年度のコロナ禍における、各種支援事業の考え方について

答 強い危機感を共有し、経済支援や生活支援並びに感染症対策などの取り組みを進めていく。

市も極めて厳しい生活を強いられている市民や事業者等の皆様が、一日でも早く日常の生活や事業活動を取り戻すことが出来るよう、国や道と連携しながら、感染拡大の防止に全力を尽くしてまいります。

「市民の命と暮らしを守る」対策を切れ目なくしっかりと講じて参ります。

問 コロナ禍で、本市の独自性のある各種施策・事業の「適時・適切」かつ「微に入り細に入る」やり方について

答 今後についても引き続き商工会議所や関連団体と連携し、いち早く市内事業者の更なる実態把握に務め、国や道の動向を踏まえ、必要な経済支援・生活支援並びに感染症対策等の切れ目のない対策を講じ、市民や事業者にしつかりと支援等が行き届くよう取り組んで参ります。

無会派

紫藤 政則 議員



問 ○空き家対策について

空家等相談窓口にどんな相談が寄せられているか。

答 雪の重みによる倒壊屋根からの落屑による周辺被害、所有者のいない空き家に対する近隣からの苦情などの相談がある。

問 美唄の持ち家高齢者は、単身・夫婦世帯あわせて2千8百戸あまりある。この冬の雪との格闘に疲れ、美唄脱出を真剣に考えている人がいる。住み替え情報の提供などにより、美唄に住み続けてもらうための対象につなげることが必要ではないか。

答 老朽化の進んだ住まいでは、住み替えと空き家の処分などの相談に及んでいる。市内で情報共有しながら進めていく。

問 対策につなげる相談とするには「傾聴と知見」が求められている。専門職員の配置が欠かせないのではないか。

答 空き家対策には様々な取組があり、庁内検討委員会に諮るなどして取り組むとともに、専門的職員の配置を含め、庁内体制のあり方を更に検討していく。

問 ○豪雪対策について
昨シーズンの記録的豪雪

市 議 会 だ よ り

を踏まえて、道路の除排雪に関する今後の対策にどう反映するのか。

答 除雪の時間帯、方法に関する苦情や課題もあることから、これらを検討しより良い生活環境の向上が図られるよう取り組んでいく。

《産業・厚生委員会》

委員長 松山 教宗
副委員長 川上 美樹

25号 美唄市手数料徴収条例の一部改正の件

問 個人番号カードの再交付手数料を不要とする条例改正を行うものの、再交付料については無料となるわけではなく、従来どおり徴収することになるとの事であるが、市民周知についてはどのように行っていくのか。

答 今後は美唄市の収入となる手数料にはならないので手数料条例からは削除することになるが、市民の方が負担する事には変わりはないことから、市民への説明については、窓口や広報メロディーを通して周知に努めていく。

25号 原案可決

※総務・文教委員会は開催しませんでした。

《予算審査特別委員会》

委員長 楠 徹也
副委員長 松山 教宗

26号 令和3年度 美唄市一般会計補正予算(第2号)

問 「地域おこし協力隊起業支援事業」について、他市では起業のための補助金の交付を受けた方が、数年で他市に移住してしまった場合、返還金を求めることとする要綱を定めているが、美唄市ではどのような取扱いとなるのか。

答 美唄市の交付要綱では、移住した場合でも補助金の返還は求めない。

問 がんばろう！びばい応援券発行事業について、前回は飲食券、共通券、地元券と3種類であったが、今回発行する応援券については、どのような内訳になっているのか。

答 今回発行する応援券については、地元券7,000円、共通券6,000円となっており、

27・28号 令和3年度 美唄市水道事業会計補正予算(第

1号) 美唄市工業用水道事業会計補正予算(第1号)

問 大規模水道事故による導水管の復旧工事について、その工期と工事の完了予定はどのようなになっているのか。

答 工期は3月30日～7月30日となっているが、6月15日現在までに管の布設は完了しており、問題なく通水が確認できた場合、6月21日の週には仮設ポンプの撤去ができるものと考えている。

26号・28号 原案可決

市議会の動き

6月

4日 議会運営委員会
8日 第2回定例会開会
11日 議会運営委員会
14日 一般質問
15日 産業・厚生常任委員会
16日 予算審査特別委員会
17日 地域医療体制等調査特別委員会
18日 大規模水道事故等調査特別委員会
21日 議会運営委員会
議会運営委員会
(正副委員長互選)

お知らせ

本議会、委員会は傍聴できます。その際、電子機器などの取り扱いにご配慮願います。

次回定例会は9月上旬に予定しております。詳しくは議会事務局(63-0141)にお問い合わせください。

編集後記

コロナウイルス感染症に対する予防接種が行われていますが、市民の不安は続いております。人と接する機会が少なくなっています。感染の予防に努めながらも電話で声を掛け合うなど、一緒に乗り越えていきたいものです。(み)

7月

総務・文教委員会
(正副委員長互選)
産業・厚生委員会
(正副委員長互選)
第二回定例会閉会
議会運営委員会
議員会総会
2日 広報委員会
9日 広報委員会
13日 広報委員会



新しい広報委員会になりました。

委員長 川上 美樹(中)
副委員長 松山 教宗(左)
委員 伊藤 真久(右)

読みやすい市議会だよりをめざし、
3人で力を合わせて頑張ります。